

事務 事業名	コード1	5000	市バス運営事業	事業 種別	☐ 国土強靱化地域計画	課	市民生活課			
	コード2				☐ 新市建設計画	所属班	市民生活支援班			
施策 体系	施策	17	交流の促進		☐ 総合戦略	電話番号	62-5396	内線	128	
	施策の展開	31	交流事業の促進		☐ 復興計画	予算 科目	会計		款	項
					☐ 定住自立圏構想	一般会計		2	1	11
					☒ 行政改革アクションプラン	根拠 法令	旭市バス使用要綱			
					☐ 主要事業					
					☐ 簡易評価					

1 現状把握(Do)

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 54 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	市主催事業や行事、市関係団体の研修会参加等のための送迎。また、学校行事の社会科見学・校外学習・部活動の大会参加のための送迎として運行している。(旧旭市バス 昭和58年、旧海上町バス 平成2年に設置) 現在、2台の市バス(市所有)を運行し、バス業者へ運転業務及び整備管理業務委託契約(委託期間3年:平成25年4月1日～平成28年3月31日)をしている。 利用料は無料であるが、有料道路の利用料及び駐車場利用料を利用者負担とし、その他の維持管理費については市の予算で行っている。 【業務の流れ】 ①各課(局・支所・消防)長宛てに市バス年間使用予定調査(照会) 施設予約及びバススケジュール管理表への入力②重複日調整③市内小中学校市バス年間使用予定とりまとめ(依頼)施設予約及びバススケジュール管理表への入力④一般の予約受付(利用日の2ヵ月前より)⑤使用申請書受付(利用日の2ヵ月前から2週間前まで)⑥許可書の交付(外部団体のみ)

(2)トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績)		単位:千円	
1.需用費	4,214	消耗品費、燃料費、修繕料、	
2.役務費	125	手数料、保険料	
3.委託料	4,589	運転業務及び整備管理業務委託料、バス代行委託料	
4.使用料及び駐車料	948	通行料及び駐車料	
5.公課費	148	自動車重量税	
② 特定財源の内訳(26年度の実績)		単位:千円	
1.国庫支出金			
2.都道府県支出金			
3.地方債			
4.その他	972	市バス通行料等負担金	
前年度比増減理由:			
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績)		単位:時間	
市・学校の日程調整等		6時間×7日	42時間
スケジュール管理、月報確認		1時間×8日×12ヶ月	96時間
申請受付、審査、許可		2時間×10日×12ヶ月	240時間

事業費	費目内訳	1.需用費	千円	3,792	4,542	4,214	5,412
		2.役務費	千円	106	117	125	126
		3.委託料	千円	7,733	4,614	4,589	6,221
		4.使用料及び駐車料	千円	963	793	948	961
		5.公課費	千円	131	131	148	148
	事業費計(A)		千円	12,725	10,197	10,024	12,868
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円	741	765	972	961	
	5.一般財源	千円	11,984	9,432	9,052	11,907	
人件費	正規職員従事人数		人	0.24	0.19	0.19	0.19
	延べ業務時間		時間	480	378	378	378
	人件費計(B)		千円	1,824	1,436	1,436	1,436
トータルコスト(A)+(B)		千円	14,549	11,633	11,460	14,304	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 市主催事業参加者の送迎及び市関係団体の研修会等参加のための送迎。学校行事の社会科見学や校外学習、部活動の大会参加のための送迎。	ア 年間利用団体数(市関係)	件	88	99	95	107
目的	27年度計画(27年度に計画している主な活動) 市主催事業参加者の送迎及び市関係団体の研修会等参加のための送迎。学校行事の社会科見学や校外学習、部活動の大会参加のための送迎。	イ 年間利用団体数(教育委員会関係)	件	332	359	362	397
		ウ					
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	市事業主催所管部署(各種団体所属所管部署) 市内小中学生や市関係団体	ア 市事業主催所管部署(各種団体所属所管部署)	課	31	31	31	31
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 市内小中学校	校	20	20	20	20
	市各部署事業及び小中学校行事がバス使用により円滑に遂行できる。	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	ア 稼働日数(2台分)	日	402	439	425	520
	市バスの効率的な運行を図る。	イ ()					
上位目的		⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
		ア 平均稼働率	%	65.7	61.7	59.9	74.0
上位目的							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
公共施設における会議や研修会、行政視察などの送迎に使用し市民の利便性を図るため開始された。	旧干潟町バスの売却や道路交通法の改正に伴い、使用の範囲を限定した。 (子ども会は生涯学習課の民間バス助成金を利用)(保育所はチャイルドシートの不足等により貸し出ししない) ※平成20年12月17日売却	貸し出しの範囲を広げて欲しい。 使用希望が重なってしまい、なかなかバスを借りることができない。

事務事業名	市バス運営事業	課名	市民生活課	班名	市民生活支援班
-------	---------	----	-------	----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 市バスの貸出しがあることにより、社会科見学・校外学習や研修時において、バス借上代の費用負担がない。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 旭市バス使用要綱により対象を限定しているため、妥当である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 使用目的を学校行事と市の関連行事等としているので、対象者の利便性を考えると妥当である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市及び学校行事は年間を通じて予約可能のため、妥当である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 平成25年度より、市バス運行業務及び整備管理業務を民間へ業務委託したことにより、稼働日を増加させることができた。また、1台/日あたりの業務委託料を削減することができた。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(車両借用を含めた市バス運行業務及び整備管理業務) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☒ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 現在の運行状況と同一内容の業務を民間に委託する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 2号車は購入から19年が経過しているため、買い替えや廃止、また、バス車両借用を含めたバス運行業務及び整備管理業務委託、将来的には学校バスとしての活用も視野に入れ検討することにより、削減の可能性もある。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 平成25年度より要綱を改正し、申請書類を簡素化したことで、業務時間削減できてはいる。さらに、使用申請書の提出に関して徹底を図れば、業務時間を削減することが可能である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 利用日が重複してしまうと、借りられない場合もあるため、補助金への移行により公平性を図ることも可能である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	2号車の老朽化による修繕料の増加を考慮した場合、車両を含めた民間業務委託や補助金等の検討が早急に必要と考える。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ☐ 目的再設定 ☐ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 廃止・休止		※2〜3年後を目処にした方向性 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業統廃合・連携(関連事業：民間への業務委託) ☒ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 費用負担の適正化			(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																											
		削減	維持		増加																								
成果	向上																												
	維持		○																										
	低下																												
(2)改革改善案について いつまでに 平成28年度		※いつまでに、なにを、どうするのか？ なにを、どうするのか？ 2号車の老朽化が進んでおり、修理も多くなっていることから経費や安全面を考慮し、買い替えや廃止を検討する。																											
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・買い替えた場合と車両を含めた民間業務委託を実施した場合のコストを含むメリット・デメリットを検討する。 ・車両を廃止した場合は補助金等制度を新設するか協議・検討する。																													